

## 柔道ルネッサンススピーチ内容

2005.5.5 南條 充寿

こんにちは。

ただいまご紹介に預かりました全日本柔道連盟総務コーチ、仙台大学の南條充寿です。

本日は選手たちの試合の前の貴重な時間をお借りして、柔道ルネッサンス運動に関わる話を少しだけさせていただきます。

ここにいる選手たちは、ルネッサンス運動という言葉も聞いても「なにそれ？」って言う人多いと思うんですね。このことはいろいろな視点、解釈があると思うのですが、今日は皆さんに分かりやすいように、明日から実践できる「お願い」をさせていただきます。

簡単に言うと「カッコいい柔道家を目指しましょう！」ということだと思えます。

では、カッコいいとは何か？

柔道が強いだけがカッコいいんでしょうか？柔道が強い人、いっぱい居ますよね！

皆さん、ここに集まっている選手たちは、強いんですね！各都道府県の厳しい予選を勝ち抜いてきた代表選手ですから。その日ごろ厳しい稽古をしている道場には厳しい先生が居られるでしょう。

そこで振り返ってみて下さい。その道場ではできることが、いざ柔道着を脱いたらできていないってことありませんか？

たとえば、道場では先生方に気持ちいい挨拶ができるのに、家ではお父さんお母さんにできない人、学校の先生にはできない人。

道場の掃除は率先してするのに、家ではお父さんお母さんが頼んでも「なに～？しんどいからいや～」などと言っている人。

道場のゴミはすすんで拾うけど、学校のゴミは知らんぷり。

道場の便所のスリッパは揃えられるのに、家では脱ぎっぱなし。

そういったのってカッコよくないですね！

道場でできることは、家でも、学校でもできます。

柔道衣を脱いでも、道場以外でも、そういったことが当たり前のようにできる柔道家、道場以外でも「やっぱり柔道している人は一味違うな！」といわれるひとが「カッコいい」と思えます。

全日本の強化選手に選ばれるような人たちは、そういったことが当たり前になります。

自分の心がけ次第ですから、皆さんも明日からは是非、実践してください。そして「カッコいい柔道家」を目指してください。私からの「お願い」でした。

さて、これから試合が始まります。日頃の練習の成果が出せるよう、思い切って戦ってください。ご清聴ありがとうございました。

製作 南條充寿